

皆さま、明けましておめでとうございます。

留学生活、4か月が過ぎました。行事であつという間に12月、そして2019年を終え、新年をアメリカで迎えるという貴重な体験をしています。

十二月といえば一大行事、クリスマスがありました。十二月に入るとホストファミリーが地下室からクリスマスのデコレーションをどっさり持ってきて家中に飾り付けます。家は赤白緑に彩られて、家前の庭には大きなくるみ割り人形やライトアップされた木でワクワク感が止まりませんでした。クリスマスイブにはカトリック教徒のホストファミリーと一緒に教会に行きました。教会では歌を歌ったり、神父さんのお話をお聞きしたりしました。キリスト教の行事であるクリスマスの歴史を知ることができましたし、教会ではどんなことを行うのか自分の身で体験できて、とても興味深い経験となりました。クリスマスの日にはホストファミリーの親戚とお会いしました。30人ほどの家族がホストシスターの従妹の家に大集合して、クリスマスパーティーが開かれました。従妹のお宅にお邪魔して驚いたのは地下室です。地下室には本格的なビリヤード台や叔父さんが自分で作ったというクレーンゲームやスロットなどがあり、とても格好良かったです。何よりも皆が私を歓迎してくれて一緒に遊ぶこともできて、すごく嬉しかったです。

さて、白鷗高校に比べると長めの二週間の冬休みが終わると私の学校には期末テストの時期がやってきます。二学期制の私の学校は一月の途中までが一学期、途中からが二学期となります。一学期を振り返ると山あり谷ありの日々だったと思います。英語の授業では、ディスカッションでなかなか勇気が出せず話すことができなくて成績をガクッと落としてしまったり、頑張ってたくさん話したディスカッションは成績に反映されなかったり。その一方で、初めは自己紹介さえ恥ずかしかったのに比べると、今は演劇のクラスで一人でも発表ができるようになり、成長も感じています。

新しい学期にはクラスメイトも先生も変わるので楽しみな分、不安もあります。一学期の反省を生かし、よりよい学校生活にできるよう頑張りたいです。

白鷗高校12期生 次世代リーダー7期生 A・K